

都市計画審議会でもいただいたご意見等と回答(都市マスタープラン中間見直し関係)

令和7年度第4回 都市計画審議会(R8.1.13)

ご意見等	回答	対応状況	備考
<p>資料2-2の1-45ページの公共施設等修繕更新費用について、中間見直しのため「今後40年間の」と記載するのはふさわしくないで「今後35年間の」と記載してほしい。また、現行計画では日進市公共施設等総合管理計画を2056年まで示すグラフとなっているが、中間見直しではそれより5年短い令和33年、2051年までのグラフとなっている。元資料について確認したところ2056年まで記載されていたので、中間見直しのグラフも元資料に合わせて2056年まで載せてほしい。</p>	<p>元資料(日進市公共施設等総合管理計画(2022年3月改訂))に掲載されているグラフを確認した結果、令和33年(2051年)までとして作成されていることを確認しました。そのため、元資料のとおり掲載することといたしますが、図表のタイトルや記載内容を元資料に合わせて、より分かりやすい表現とするよう改めました。</p>	<p>対応済</p>	
<p>資料2-2の2-21ページの財政力指数について、現行計画では財政力指数が増加傾向のため強みに挙げているが、中間見直しでは財政力指数が減少傾向に転じているとして弱みの方で挙げられている。しかし今年度の財政力指数は1.05と出ており、3年度平均でも1.027くらいになると思う。2023年までに一旦は減少したがまた増加していることや、立地適正化計画の指標として財政力指数を挙げていることから、弱みではなく強みの方に載せるべきだと思う。</p>	<p>2-16ページについて、いただいたご意見を踏まえ、視点5都市運営⑧「都市運営コスト削減の都市づくり」の視点における財政力指数の記載を【弱み】から【強み】へ修正しました。また、それに合わせ、1-43ページの記載について整合性が図られるよう表現を修正しました。</p>	<p>対応済</p>	
<p>資料2-2の4-10ページの将来都市構造図の新市街地形成ゾーンについて、4-6ページにある説明文をみると、赤池箕ノ手地区、折戸鎌ヶ寿地区、日進駅西地区は記載があり、香久山西部地区は記載がないがなぜか。また、将来都市構造図では北高上緑地のあたりも新市街地形成ゾーンとなっているが、4-6ページの説明文に何も記載がないことが気になる。</p>	<p>新市街地形成ゾーンは、現行計画策定時において暫定用途地域として第一種低層住居専用地域で建蔽率が30%、容積率が50%に抑えられていた地区を示しており、必ずしも土地区画整理事業を行っている地区と重なるものではありません。なお、当該地区の一部については、その後、暫定用途地域が解消され都市計画(建蔽率、容積率等)の見直しが行われておりますが、低未利用地が残るなど、全体として今後計画的な市街地の形成を目指す地区であることから、計画の目標年次である令和12年度を見据えた将来都市構造として、これまでの位置づけを維持するものとしております。</p>	<p>対応済</p>	
<p>資料2-2の7-3ページの市内農業算出額について、例えば去年はレートが非常に変動したが、加味されているか。</p>	<p>7-3ページに示す数値につきましては、令和4年度の数値となりますので、去年の状況が反映されているものではありません。 農業算出額につきましては、農林水産省が公表している市町村別農業産出額を指標としております。当該統計は、都道府県別農業産出額(品目別)を基礎として、農林業センサスや作物統計調査等を用いて市町村別に按分して推計された加工統計として作成されているものです。本市では、国が公表している当該統計値を進捗管理の指標として活用しております。</p>	<p>対応済</p>	